

全建協連 第452号

[発行所]
全国建設業協同組合連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
電話 03-3553-0984(代表)
編集兼発行人 小池英雄

第47回通常総会を開催

5月19日、全建協連は第47回通常総会を東京都千代田区の学士会館において開催した。令和3年度の事業報告および決議事項並びに、令和4年度の事業計画が付議され、いずれも承認・可決された。

【総会】

議題に先立ち青柳会長の挨拶（3ページ）があり、続いて来賓の国土交通省不動産・建設経済局長橋和久局長より「貴連合会におかれましては、従来から各種金融事業や福利厚生事業に取り組まれ、地域の建設企業の健全な発展にご尽力いただいております。『ユニフォームデザインプロジェクト』や、『仮囲いデザインコンテスト』などのプロジェクトを通して、建設業の魅力の発信に非常に貢献していただいていることに改めて敬意を表します。

いうまでもなく建設産業の喫緊の課題は「担い手の確保」だと認識してございます。将来の担い手を確保するためにまずは安定的・持続的な公共投資の確保、それに加え処遇改善・働き方改革にも取り組んで参りたいと思います。建設業が給料がよく、休暇が取れ、希望を持てる、いわゆる「新3K」の魅力的な産業となるよう一層推進してまいります。貴連合会におかれましてもこのような取り組みにご理解・ご協力をいただきますとともに、引き続き地域の建設企業のための各種事業の展開をされまして、担い手の確保及び建設産業の一層の発展に向けてともに取り組みを進めていただくことをご期待申し上げます」との挨拶をいただいた。

【報告事項】

「令和3年度事業報告の件」について事務局から報告され、承認された。

【決議事項】

(1)「令和3年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書承認の件」、(2)「令和3年度剰余金処分決定の件」について諮られ、原案どおり承認・決定された。また、(3)「令和4年度事業計画」及び(4)「令和4年度収支予算及び経費の賦課金徴収方法決定の件」なども原案どおり決定された。



令和4年度事業計画

①金融事業：「経営安定資金の融資」、「下請S N 融資等支援事業」等を継続する。②共同購買事業：「全建協連総合システム（土木積算システム・公共建築積算システム）」、「たのめーる」、等を継続して提供する。さらに、最新の商品の情報収集を積極的に行い、会員組合と協力のうえ所属員企業のニーズに沿った品揃えを行う。③教育情報事業：事業に関する情報や建設行政の情報などを収集し提供するとともに、会員組合と連携し、所属員企

業の事業遂行に役立つと思われる研修・講習会を実施または、会員組合が実施する研修・講習を支援する。④福利厚生事業：会員組合及び引受会社と連携を強化し、契約件数の増加を図る。⑤総合補償制度：契約件数の増加を図るとともに、会員組合を通じて所属員企業の多様化するニーズの把握に努め、制度内容の改善を行う。⑥建設キャリアアップシステム普及促進事業：申請登録手続きの支援やカードリーダーの貸出等、所属員企業への建設キャリアアップシステムの普及促進を行う。

【顕彰】

【特別功労】

永年にわたって全建協連の役員または会員代表理事として、全建協連及び業界の発展にご貢献のあった方々。

▽佐久間源一郎氏 全建協連前副会長（福島（協組））前代表理事 ▽藏谷伸一氏 全建協連副会

長（長野（協連））代表理事 ▽井原宏巳氏 全建協連副会長（山口（協連））代表理事



（左から佐久間氏、井原氏、藏谷氏）

【一般功労】

永年にわたって事務局の専従役職員として、組合事業の拡充と全建協連の発展にご貢献のあった方々。▽村上春幸氏（長崎（協組））

【記者会見】

総会に引き続いて行われた記者会見にて、青柳会長が令和4年度事業計画を発表した。

【役員名簿】

（令和4年7月1日現在）

役職	氏名	組合名	役職	氏名	組合名
会長	青柳剛	群馬（協組）	理事	石田龍夫	伊東（協組）
副会長	千葉嘉春	宮城（協組）		山形定三	（協組）坂浅
	二瓶重信	福島（協組）		三浦浩	鹿足（協組）
	木下修	長野（協連）		岩浅良治	（協組）徳島
	奥田克実	滋賀（協組）		小竹和夫	香川（協組）
	井原宏巳	山口（協連）		白川正昭	中讃（協組）
	藤田護	鹿児島（協連）		増崎博之	長崎（協組）
理事	北林一成	秋田（協連）	監事	東野久晃	盛岡（協組）
	石津健光	茨城（協組）		石井良典	千葉（協連）
	伊田登喜三郎	埼玉（協組）		石田信夫	員外
	浅野正一	山梨（協組）	専務理事	小池英雄	事務局
	石井源一	静岡（協連）			

22年 春の叙勲

政府は2022年春の叙勲受章者を決定。4月29日付で発令し、当連合会副会長千葉嘉春氏（熱海建設株式会社代表取締役 ▽（一社）宮城県建設業協会会長 ▽宮城県建設業協同組合代表理事）が黄綬褒章を受章しました。

第47回通常総会 会長挨拶

会長 青 柳 剛



令和4年度全国建設業協同組合連合会、全建協連の総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。今日の総会、来賓として国土交通省長橋和久不動産・建設経済局長さんをお迎えして開催できますこと、先ずもって厚く御礼申し上げます。対面での開催は3年ぶりとなりますが、会場も広め、感染対策をしっかりとったうえでの開催となります。よろしくお願いたします。

令和3年度を地方の建設業の特徴である「地域性を生かした災害対応」の観点から振り返ってみますと、九州地方では夏前に豪雨災害となりましたが、その後の台風災害など比較的少ない年度となりました。しかしながら今年の冬は全国各地で大雪といった状況になり、それぞれの地区で除雪作業に地域の建設業が追われたことと思われま。そして、年度末には福島を中心とした震度6強の地震、揺れの幅も大きく、被害が大きかったと聞いております。また、全国各地でCSF/豚熱が発生し、防疫・埋却作業に奮闘する建設業の様子が専門紙で頻繁に報道されています。新型コロナの影響下にあっても防災・減災国土強靱化を担う建設業の姿、改めて「地域を守る建設業の役割」を外に向けてしっかりと発信していかなければならないと感じた年度であったといえます。

昨年秋に内閣が変わるとともに政府が掲げた政策は「成長と分配」でありました。「賃上げのための方策」をきっかけに建設業界を取り巻く環境も大きく変わりました。現場で働く人たちの「分配」、処遇改善へとつながる設計労務単価は10年連続で引き上げとなり、それぞれの企業の

「分配」に相当する「一般管理費」の見直しも9年ぶりに行われ、積算基準の改正とともに「調査基準価格」も引き上げとなりました。技術者制度の兼務を含めた緩和もIT化と連動して一気に進みそうな状況になってきました。どの改正にあたって、全建協連として、「中小建設業の要望に沿った形は何なのか」を考え、落ち着く先を提案し続けてきました。何とか中小建設業の実態に合わせた形が見えてきましたが、見据える先は「働き方改革」を乗り越えた「新たな建設業の姿」であると思っています。

建設業の課題は「人材確保育成」と「生産性の向上」そして「災害対応組織力の強化」の3点に集約されます。中でも、「人材はとかく中心に向かいやすい」といわれるように地方の企業にとって「人材確保育成」は大きな課題といえます。リスク管理と処遇改善の第一歩につながる「総合補償制度」・「生命共済制度」・「共同購買事業」など核となる事業に対してもしっかりと着実に取り組んでいくことが大事です。加えて「建設キャリアアップ制度の普及促進」など、組合として重点的に取り組みだしたところです。令和3年度の事業報告と決算、それに新年度に向かっての予算・事業計画等が議題となっています。出来るだけ、事務局と相談して、わかりやすい説明資料を心がけています。それぞれの項目、会員の皆さんに慎重審議な中にもスムーズな運営をお願いして冒頭のあいさつに代える次第であります。よろしくお願いたします。

楽らく
アプリ
工事費算出
システムシリーズ

令和4年度版
土木 直接工事費編

2022年8月発売 定価：29,700円（税込）

詳細な機能説明・無料試用版の
ダウンロードはこちらから>>>



「国土交通省土木工事標準積算基準書」の施工条件に対応した施工単価や自社施工単価（材料単価・自社労務単価及び歩掛値の変更が可能）の作成及び施工数量を入力することで施工目数も算出できるシステムです。週休2日制工事における市場単価・土木工事標準単価自動算出機能を追加しました。

一般財団法人 建設物価調査会

お申込みは

オンラインショップ
建設物価BookStore

建設物価 Book 検索

2022年も暑い夏がやってくる!! プロ仕様の空調服を会員価格にて順次発売



2022年新作モデルは、多様なニーズに対応した強力なラインナップ
今年の夏も空調服®でより涼しく、より快適に過ごしましょう

KU92210 <全建協連割引価格> 5,130円(税込)

▶ストレッチ素材で動きやすい! ▶清潔感のあるさわやかな配色で、きちんとした印象
▶動作時の取り込み風量が妨げられない快適設計
(ファン、ケーブル、その他オプションは別売りです)
その他にも多数の商品を全建協連 HP に掲載中。

令和4年度 総合補償制度 ご加入者のご要望に応え

土木工事補償制度免責額を大幅引き下げ!

現場に伴うさまざまなリスクをカバーする総合補償制度が令和4年11月1日に更新となります。

新年度は、台風・豪雨等の自然災害や火災・盗難により工事現場(対象物)に損害が生じた際に対象となる土木工事保険において、事故時にご加入者にご負担いただく免責金額(自己負担額)を大幅に引き下げました。

《変更前》

- 造園・上下水道工事..... 請負金額の0.6% (下限30万円～上限50万円)
- 河川・土地造成・災害復旧工事等... 請負金額の2.0% (下限100万円～上限300万円)
- その他工事..... 請負金額の1.0% (下限50万円～上限100万円)



《変更後》

- 造園・上下水道工事..... 30万円
- 河川・土地造成・災害復旧工事等... 100万円
- その他工事..... 50万円



免責金額(自己負担額)を引き下げることにより、これまで損害が発生した際にご加入者に高額な自己負担をいただいていた課題が改善いたします。また、この免責金額(自己負担額)の引き下げについては、ご加入者向けアンケートの際に多くの改善ご希望のご意見をいただいております。今回の改正によりご加入者への一層のサービス向上となっておりますので、ぜひこの機会にご加入のご検討をいただきますようお願いいたします。



損保ジャパン
SOMPO



安心をお届けする...



損害保険ジャパン株式会社

営業開発部 第一課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
電話 03-3349-3322
<https://www.sompo-japan.co.jp/>

取扱代理店: 建設協友サービス株式会社

全建協連 損保ジャパン提携商品

第三者賠償補償制度	傷害総合補償制度
土木・建築工事補償制度	個人加入型団体総合保険